

ピカイチ先生の
生活経営セミナー

2017年04月

仕組で稼ぐ家計簿
(⑩ 支出を設定する)

ネクストライフ・コンサルティング

〒975-0038

福島県南相馬市原町区日の出町167-3

info@next-life-consult.com



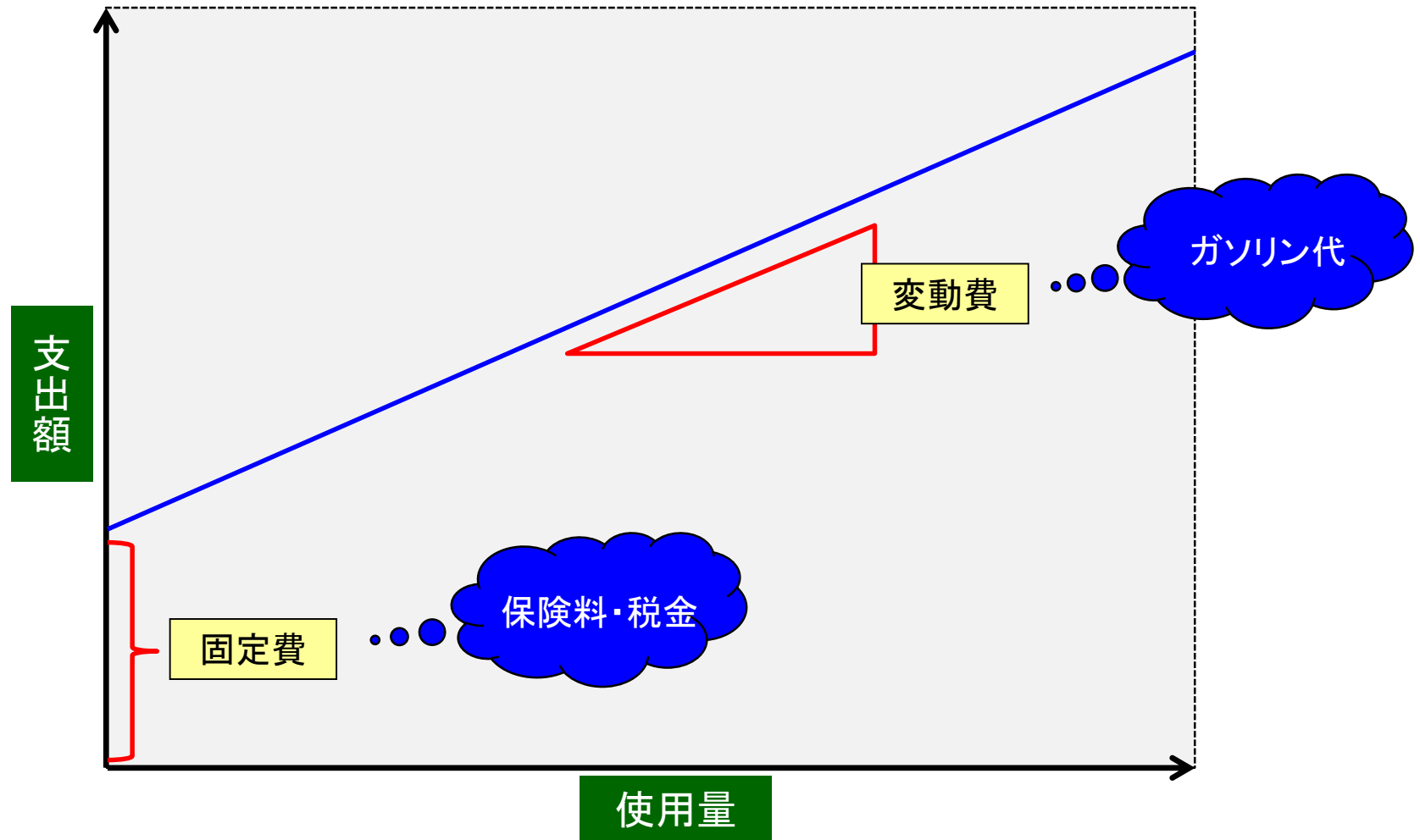
ピカイチ先生

ピカイチ先生

検索

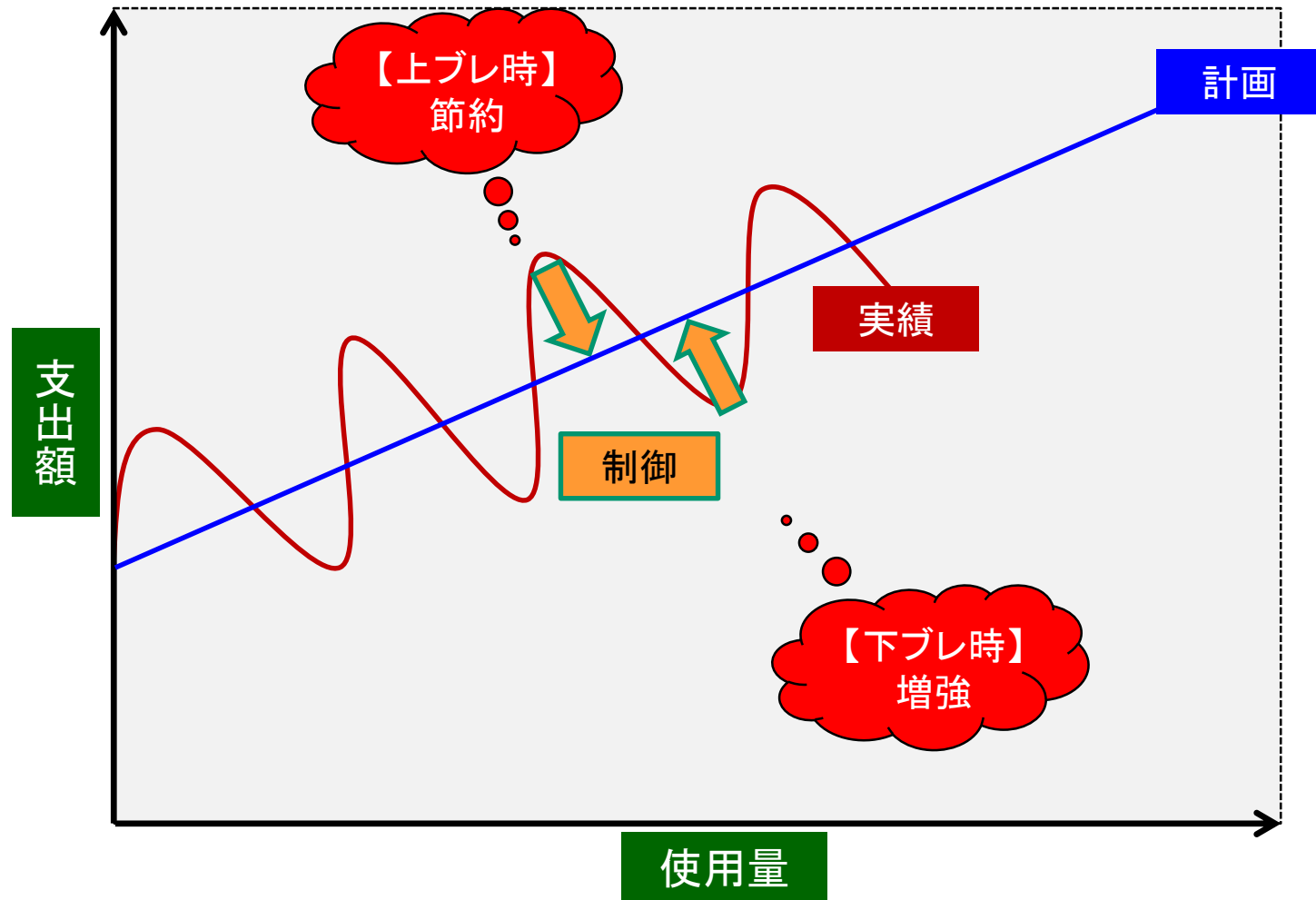
「固定費」と「変動費」

● 車両費(マイカー)の支出



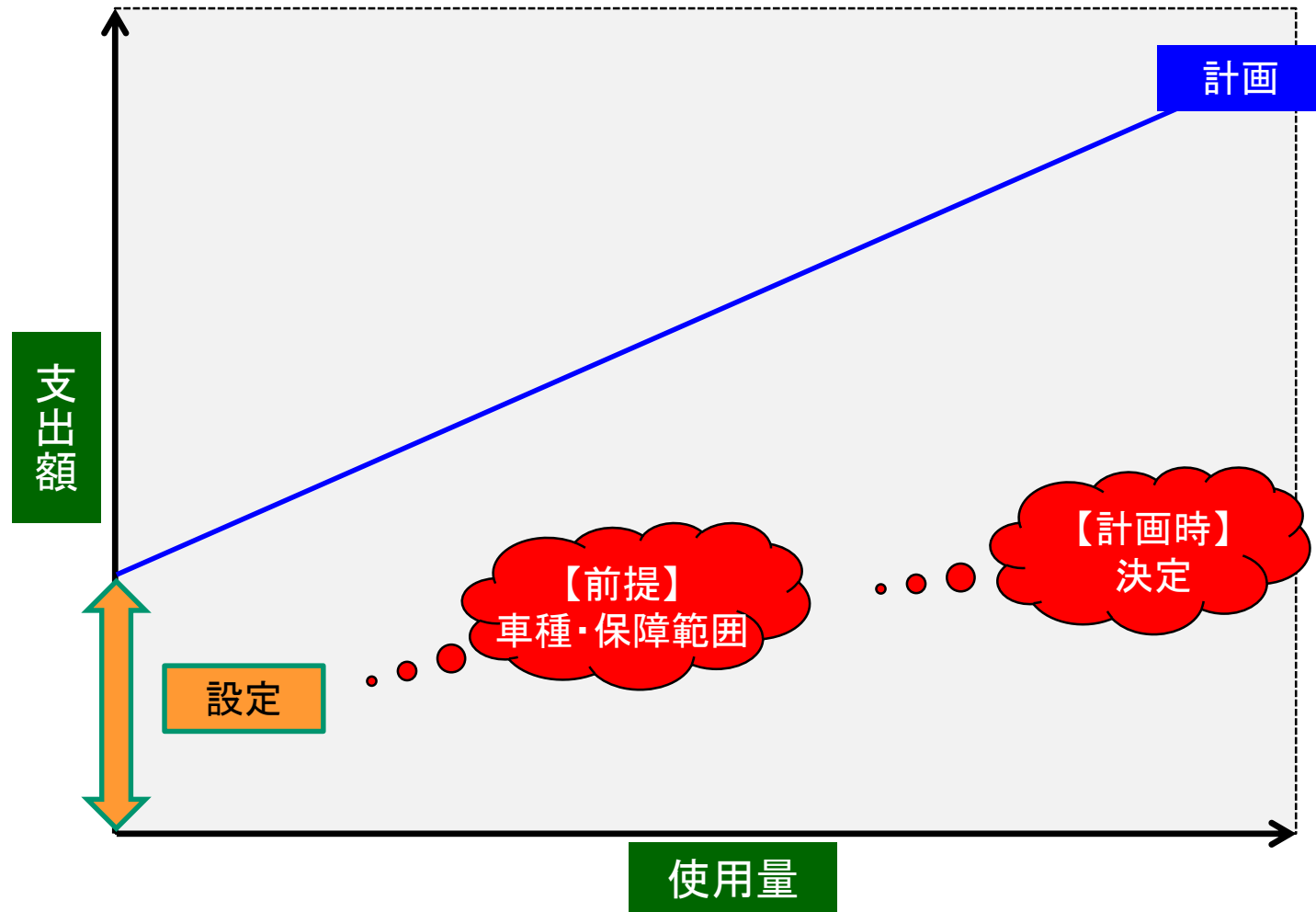
「変動費」を制御する

制御 = 実績を計画に近づける

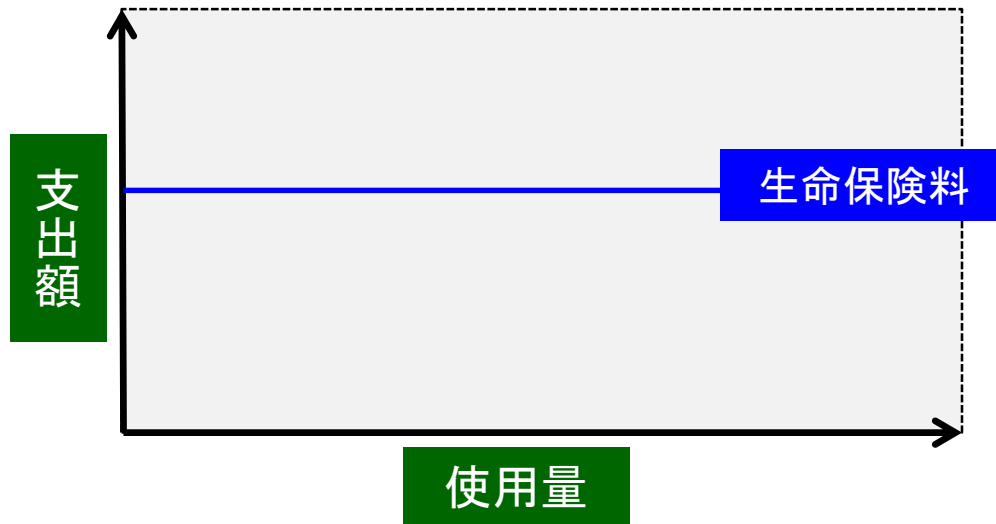


「固定費」を設定する

設定 = 固定費の前提を決定する

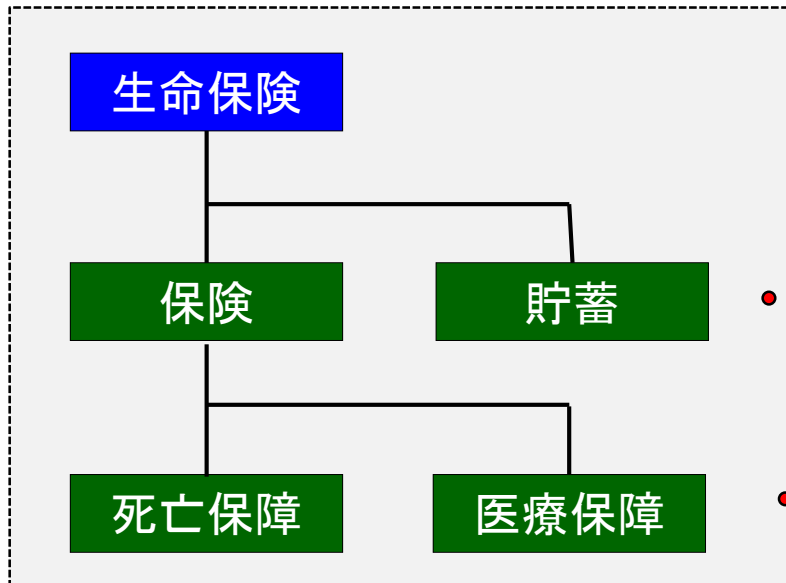


生命保険料を設定する



固定費 = 100%
変動費 = 0%

高額！
カイゼン効果大



貯蓄は、
資産運用で

医療保障は、
資金繰りで

生命保険の「必要保障額」とは？

$$[必要補償額] = [生涯支出額] - [生涯収入額]$$

◆2005年4月の必要保障額

項目		金額 (万円)	
支出	妻の生涯生活費	6,460	[現] = 3
	子供の生活費	884	[現] = 3
	子供の教育費	1,211	高校
	子供の結構援助	200	100
	住宅ローン・家賃	456	127
	一時的な支出	1,000	
	葬式代・借金	300	
	10,511		
収入	公的年金	5,025	[遺] + [現]
	企業からの保障	0	
	妻の収入	0	
	一時的な収入	0	
	貯蓄・資産	2,800	3,500
	7,825		
必要保障額	2,686	[支]	

生涯支出額

生涯収入額

必要保障額

「生涯支出」を見積もる

◆2005年4月の必要保障額

項目		金額 (万円)	内 訳
支出	妻の生涯生活費	6,460	[現在の生活費]×0.5×[85歳-妻の年齢] ≒340万円×0.5×38年間
	子供の生活費	884	[現在の生活費]×0.2×[22歳-末子の年齢] ≒340万円×0.2×13年間
	子供の教育費	1,211	高校まで公立、大学は国立
	子供の結構援助	200	100万円×2人
	住宅ローン・家賃	456	12万円(固定資産税)×38年間
	一時的な支出	1,000	
	葬式代・借金	300	
		10,511	

生活費は50%
平均寿命まで

生活費は20%
独立(大卒)まで

ローンは完済
(団体信用保険)

家の修繕費など

「生涯収入」を見積もる

公的年金の3つの備え

- ①老齢年金 ⇒ 長生きリスク
- ②障害年金 ⇒ 障害リスク
- ③遺族年金 ⇒ 死亡リスク

万への備えは、
公的年金が支柱

老齢年金の損得だけで
評価してはダメ！

収入	公的年金	5,025	[遺族基礎年金]+[遺族厚生年金] +[老齢基礎年金]
	企業からの保障	0	
	妻の収入	0	
	一時的な収入	0	
	貯蓄・資産	2,800	3,500万円×0.8
		7,825	

①時価で評価

②価格変動への備え
20%ダウン/年

「必要補償額」の見直し

◆2006年4月の必要保障額

項目		金額 (万円)	内 訳
支出	妻の生涯生活費	6,290	[現在の生活費]×0.5×[85歳-妻の年齢] ≒340万円×0.5×37年間
	子供の生活費	816	[現在の生活費]×0.2×[22歳-末子の年齢] ≒340万円×0.2×12年間
	子供の教育費	1,153	高校まで公立、大学は国立
	子供の結構援助	200	100万円×2人
	住宅ローン・家賃	370	10万円(固定資産税)×37年間
	一時的な支出	1,000	
	葬式代・借金	300	
		10,129	
収入	公的年金	4,845	[遺族基礎年金]+[遺族厚生年金] +[老齢基礎年金]
	企業からの保障	0	
	妻の収入	0	
	一時的な収入	0	
	貯蓄・資産	3,040	3,800万円×0.8
		7,885	
必要保障額		2,244	[支出の合計]-[収入の合計]

▲170万円
(余命年数が減る)

▲68万円
(余命年数が減る)

▲10万円
(余命年数が減る)

▲180万円
①支給年数が減る
②収入減による減額

+240万円
①貯蓄積立
②価格上昇

こらが、わが家の目標

「脱保険」へ向けて

保険額		◆2005年4月の保険額	
保険額	内訳	保険名	保険額
2,044	終身=344万円	〇〇生命: 定期特約付終身	1,944
300	長男=300万円 (長女は無し)	〇〇簡保: 学資保険	300
2,344		合計	2,244



▲100万円

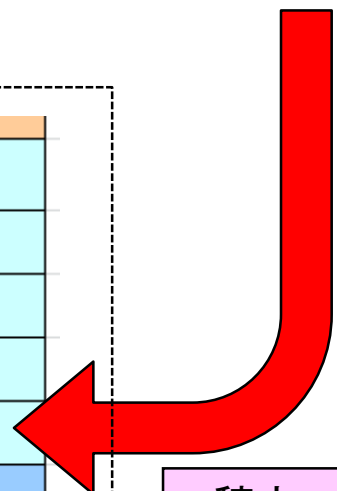
生涯収入の増加



収入		金額	計算式
公的年金	5,025	[遺族基礎年金]+[遺族厚生年金] +[老齢基礎年金]	
企業からの保障	0		
妻の収入	0		
一時的な収入	0		
貯蓄・資産	2,800	3,500万円×0.8	
合計	7,825		

保険料の削減

積立



「管理会計」の目的は？

ジャスト・イン・タイムと自動化、機械化、多能工化、省力化といった一連のテクニックの**目的**は、財務的な要請に応じて、**資金余裕を捻出**することにある。TPSのテクニックによって、魅力的な価値や製品そのものができるわけではない。

(中略)

歴史的にはTPSで捻出した資金は製品開発だけでなく、もちろん生産設備の導入にも使われた。

(中略)

「売れるモノ」＝「カネになるモノ」しか工場で作らないTPSでは、「人間系」であれ「機械系」であれ、付加価値を生んでいる**ハタラキ**と付加価値を生んでいない**ムダ**は明らかに区別できる。TPSでは、人であれ、機械であれ、個々の**作業のムリ・ムダ・ムラ**は明確なのだ。

「トヨタの強さの秘密」(酒井崇男)より

「管理会計」の仕組み（生データ）

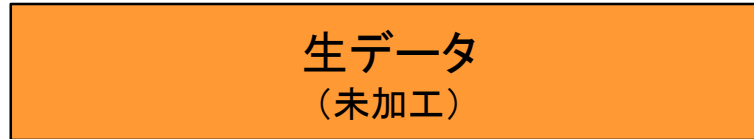
- 目的:生活の向上
- 手段:生活費 \square 、教養娯楽費 \square

- 目的:生活向上資金の捻出
- 手段:保険料 \square

- 目的:家計の自立
- 手段:資産運用 \square



必要なデータを切り出す



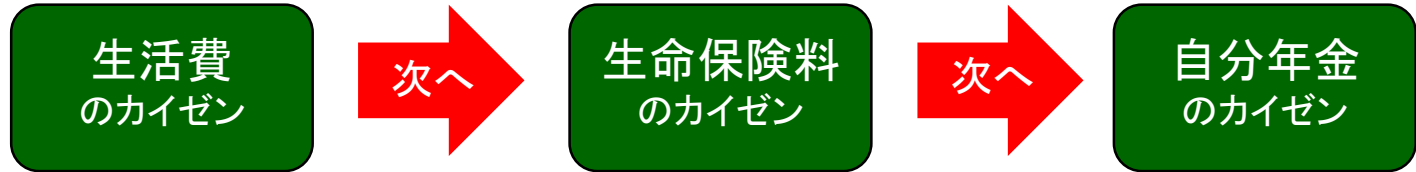
現代では「ビックデータ」
江戸時代では「大福帳」

「いつ、何を利用するか」は分からない



「管理会計」の仕掛け（カイゼン）

ひとつずつ
進める

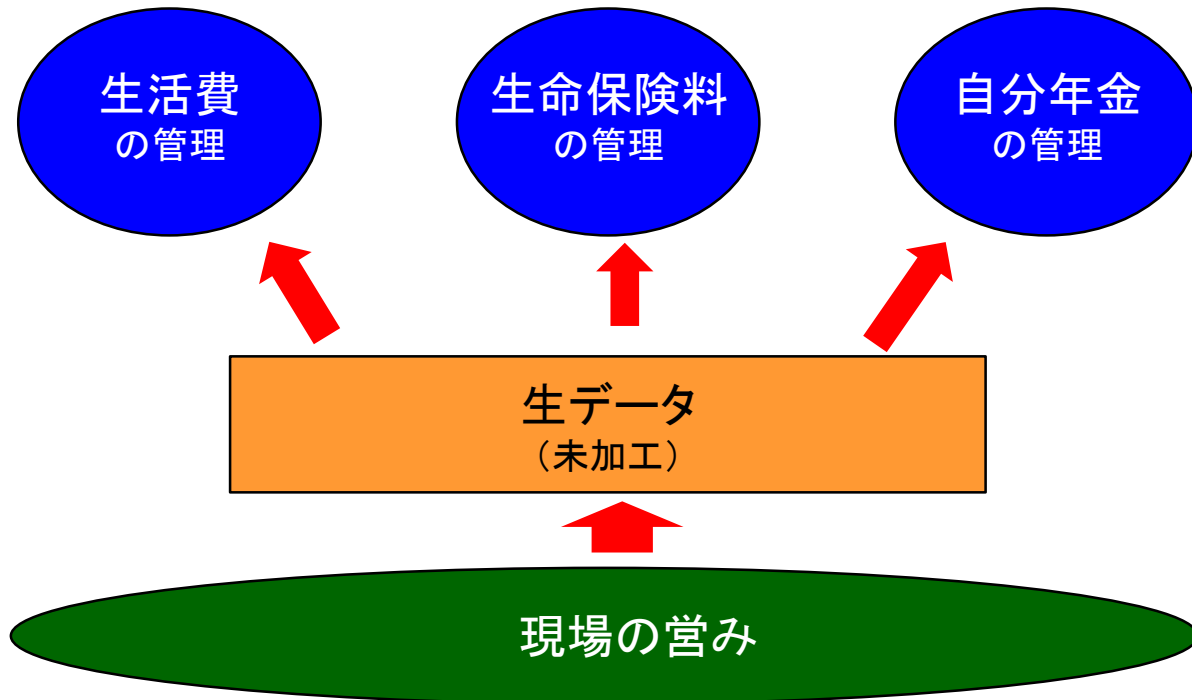


- 目的: 生活の向上
- 手段: 生活費 , 教養娯楽費

- 目的: 生活向上資金の捻出
- 手段: 保険料

- 目的: 家計の自立
- 手段: 資産運用

現場に定着したら
やめる



「管理会計」の手段は？

文書を作りその標準を遵守するが、より良い方法・考えが見つかれば
どんどん試行して実体を改善していく。試行錯誤を経て良い結果が得ら
れば、より高い水準に**カイゼン**された**プロセス**を新たに文書化して標
準化する。

(中略)

「**標準類が更新されていない**」ということは、働いている人のアタマの
「**ハタラキ**」がないということなのである。つまり、現代的な意味では「付
加価値を生む仕事をしていない」のと同じである。

優先されるのは、**実体**のほうで、実体を記述する情報を作り、実体を
もっと良くするために人間がアタマを使い、**カイゼン**・創造して、現状より、
良くなったらまた実体を記述する情報を更新する。

「トヨタの強さの秘密」(酒井崇男)より